

くすのき



西合志第一小学校
学校だより 第21号
文責 校長 西村羊治
令和6年6月10日

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

引き渡し訓練

6月7日（金）に大雨を想定した引き渡し訓練を行いました。私は初任の時に、雲仙普賢岳の噴火による火山灰の降灰、台風19号による教室や体育館のガラスの損壊を経験しました。火山灰の影響は有明海を越えて対岸の玉名まで来て、私が勤める睦合小のプールに降り注ぎました。体育主任だった私は、水中掃除機を借りてきて、1時間かけてプールの底に沈んだ火山灰を吸い込み綺麗にしました。そのとたん、また火山灰が降ってくるのです。やりきれない気持ちになったことを覚えています。また、19号台風では、私が受け持つクラスの教室のガラスが割れ、雨や風が吹き込み掲示物はめちゃくちゃになってしまいました。ひどい状況で、ガラスの破片が散らばった教室には子ども達を入れることはできませんでした。それから33年、地球の環境はさらに変化し、想定外のことを考えていてもそれ以上の想定外のことが起こっています。子どもの命をいかに守るか、とても難しい問題になってきているのかもしれない。しかし、なんとしてでも子どもの命が一番で、学校は子どもの命を預かっていることを常に肝に銘じ、日々の教育活動に当たってまいります。



引き渡し訓練の受付

今回は大雨を想定しての引き渡し訓練でした。各保護者におかれましてはお忙しい中、ご協力いただき本当にありがとうございました。いつ起こるか分からない災害、そのことを学校や大人はもちろん、子ども達にも防災意識をもってもらい、大切な自分やお友達の命を守る自助と共助を実行できる人になってもらいたいです。今回訓練して、反省点をその日のうちに職員間で出し合いました。本番がないように祈りながらも、その時に備えたいと思います。

歯科検診の大切さ

6月6日に学校歯科医の永田先生に来ていただき、歯科検診を行いました。保健室の辻千晶先生によると、子ども達の歯垢や歯石はだいぶ減っていたとのことでした。嬉しいことです。虫歯も怖いですが、歯周病も怖いです。以前、私がお世話になった尊敬する先生は、お若くして総入れ歯の状態でした。仕事に一生懸命で、土日も部活動の指導で休みもなく定期的な歯石取りもできずに、虫歯は1本もなかったのに、いつの間にか歯周病になってしまったとのこと。歯が抜け落ち、入れ歯にするしか手がなかったそうです。私はその時歯周病の怖さを知り、年に2回は歯石取りに歯科医に通うようになりました。また、朝起きてからすぐ歯を磨くこともしています。朝の口腔内が、悪い菌がたくさん繁殖していることを知り、これも10年ぐらい続けています。起きてからすぐ、食後、寝る前の1日5回は歯磨きをしていますが、歯石はやはりつきます。だから私は歯科医に行き、歯石取りをしています。8020運動というのがありますが、80歳でも自分の歯が20本ある状態にしましょうということ。80歳まで生きられるかは分かりませんが、口腔ケアは続けていきます。



歯を確認する永田先生